

大会名 Competition	第28回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-114	Year Month Day Time 2015 年 5 月 5 日 13 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA 市立船橋 81 ●	<table border="1"> <tr><td>14 1st</td><td>28</td></tr> <tr><td>20 2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>18 3rd</td><td>28</td></tr> <tr><td>29 4th</td><td>16</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	14 1st	28	20 2nd	20	18 3rd	28	29 4th	16	OT		チームB 洛 南 92 ○
14 1st	28											
20 2nd	20											
18 3rd	28											
29 4th	16											
OT												

主審:Referee
加川 真 宮城
副審:Umpire
大川 修平 山形
及川 学 岩手
テーブルオフィシャル:Table officials
能代工

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	平良 彰吾	CAP	2	0	1	0	4	4	×	寺嶋 良	CAP	21	0	8	5	1
5	×	田村 伊織		0	0	0	0	2	5	×	桑田 裕平		12	2	2	2	0
6	/	野永 隆介		4	0	2	0	3	6	×	鈴木 悠介		13	0	6	1	1
7	×	白井 虎太郎		12	3	0	3	3	7	×	田邊 陸也		11	0	3	5	0
8	×	越川 和紀		28	7	1	5	1	8	/	荒川 颯		7	0	3	1	0
9	/	須田 恵哉		0	0	0	0	2	9	/	長谷川 寛元		2	0	1	0	0
10	/	邱 文昊		1	0	0	1	2	10	/	波多野 遼		0	0	0	0	2
11	/	菅原 幸人		2	0	1	0	1	11	/	大庭 岳輝		0	0	0	0	0
12		赤川 建斗		-	-	-	-	0	12	/	福島 悠喜		0	0	0	0	0
13		寺内 康介		-	-	-	-	0	13	×	柳川 幹也		17	3	3	2	2
14	×	赤穂 雷太		32	6	6	2	4	14	/	津屋 一球		7	0	3	1	0
15		野崎 由之		-	-	-	-	0	15	/	久能 有清		2	0	0	2	1
16		保泉 遼		-	-	-	-	0	16	/	安信 省吾		0	0	0	0	1
17		増田 修大		-	-	-	-	0	17	/	小西 聖也		0	0	0	0	1
18		石塚 周太		-	-	-	-	0	18	/	津田 誠人		0	0	0	0	0
コーチ		近藤 義行						0	コーチ		吉田 裕司						0
Aコーチ		相川 宙輝						0	Aコーチ		袴田 英志						0
合 計				81	16	11	11	22	合 計				92	5	29	19	9

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、市立船橋は2-3ハーフゾーン、洛南はハーフマンツーマンでスタートする。序盤、ペースを掴んだのは洛南。#5桑田が3Pで先制すると、さらに7連続得点を上げ、開始2分で0-10とする。対する市立船橋は果敢にオフェンスリバウンドに飛び込みアウトサイドシュートを放つものの、決めることができない。市立船橋#7白井、#8越川が単発で3Pを決めるも、洛南ペースで試合は進む。その後も洛南は#5桑田、#7田邊が着実に加点し、14-28で1Q終了。

2Q、市立船橋は1Q同様に洛南のハーフマンツーマンに手こずるが、開始後約3分、#14赤穂がオフェンスリバウンドからのゴール下でのシュートを皮切りに、3Pやドライブで次々と得点し、一時4点差まで詰めよる活躍を見せる。対する洛南はリバウンドが取れず、序盤は思うように得点することができない。しかしタイムアウトを取り、速い展開を見せさらに速攻で得点するという再び洛南がペースを取り戻す。その後も#13柳川の3Pで突き放した洛南が34-48の14点リードで前半終了。

3Q、洛南はオールコート1-2-2ゾーンに切り替え激しいプレッシャーをかけ、一気に点差を20点以上に広げる。市立船橋は#8越川が連続3Pを決め食い下がるものの、#4寺嶋を中心とした洛南ガード陣のドライブを止めることができず、点差はさらに広がる。終盤、市立船橋は#白井の3Pなどで反撃を試みるが52-76で3Qが終了。

4Q、再びハーフマンツーマンに戻した洛南に対し、市立船橋はドライブで仕掛けるもターンオーバーの連続、点差は30点以上に広がる。その後両チームとも攻め手を欠き、スコアが止まった状態が続く。終盤、洛南は控え選手を出す余裕を見せ、81-92で洛南が貫禄勝ちを収めた。